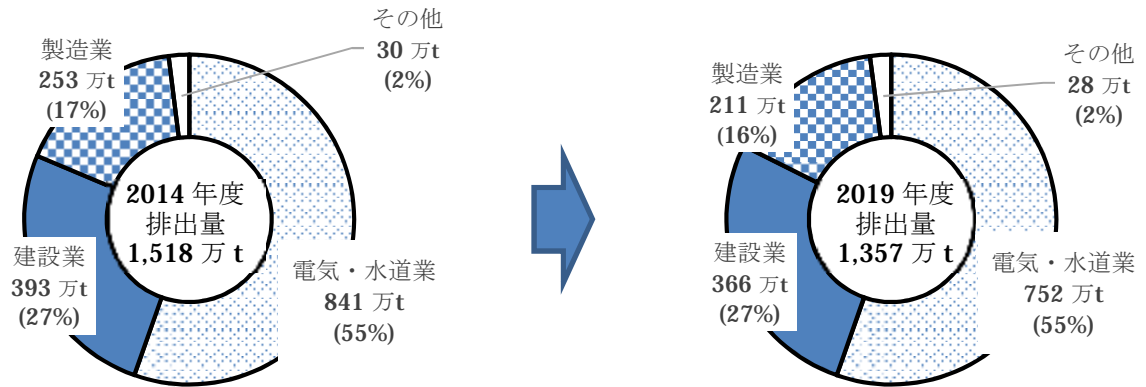


産業廃棄物に関するデータ

1. 業種別の産業廃棄物の排出量等

・2019年度の排出量1,357万tのうち、電気・水道業が752万t、建設業が366万t、製造業が211万tとなっている。



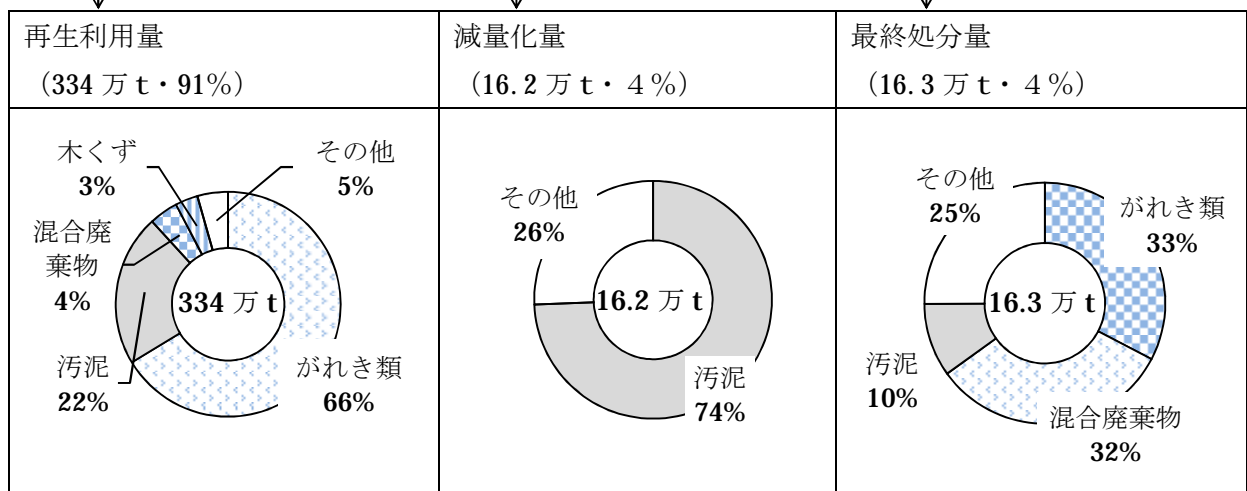
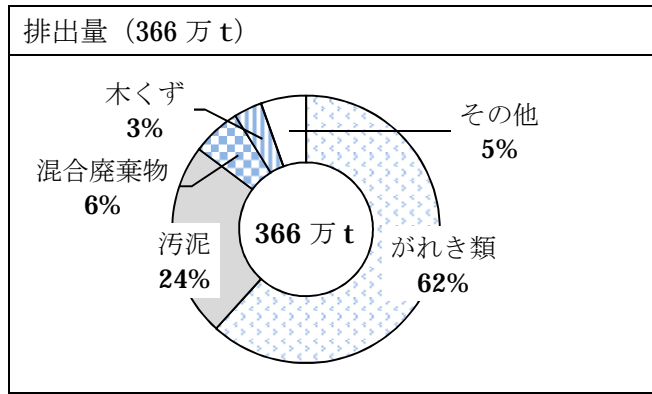
産業廃棄物排出量の業種別の内訳

主な業種における処理状況の概要

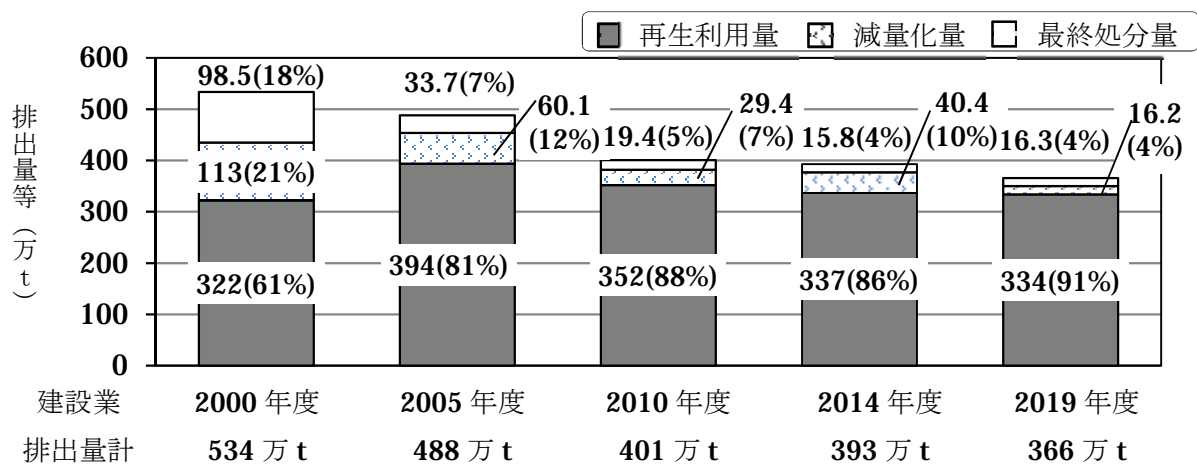
項目	年度	全業種	建設業	製造業	電気・水道業	
						下水道業
排出量	2014	1,518万t	393万t	253万t	841万t	754万t
	2019	1,357万t	366万t	211万t	752万t	670万t
再生利用率	2014	32%	85.7%	43.7%	2.2%	1.9%
	2019	32.2%	91.1%	39.3%	1.1%	0.6%
最終処分量	2014	38万t	15.8万t	16.1万t	3.2万t	1.9万t
	2019	40万t	16.3万t	16.5万t	2.3万t	1.9万t

(1) 建設業

(ア) 処理状況 (2019年度)

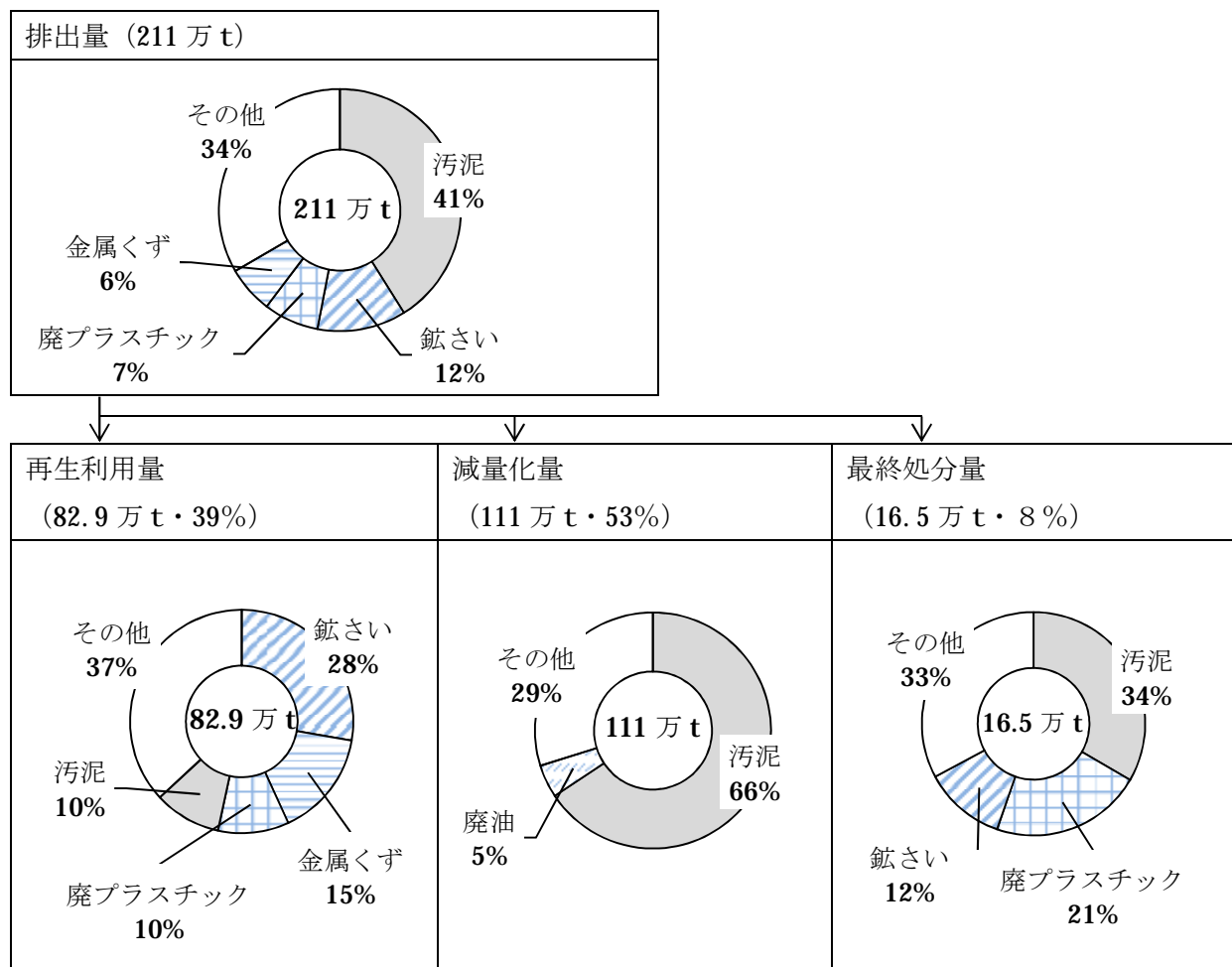


(イ) 排出量、再生利用量、減量化量、最終処分量の推移

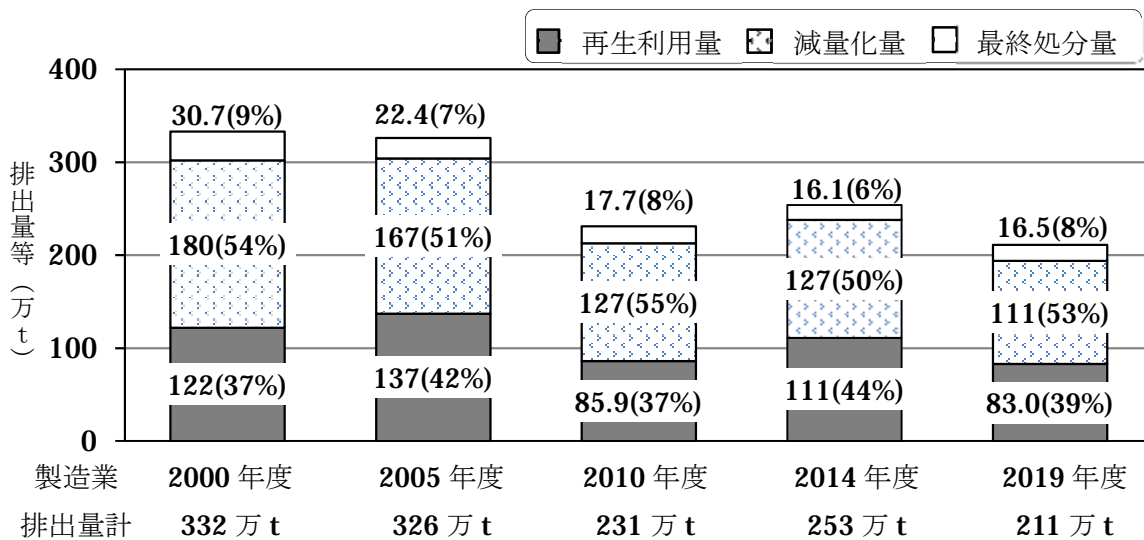


(2) 製造業

(ア) 処理状況 (2019年度)

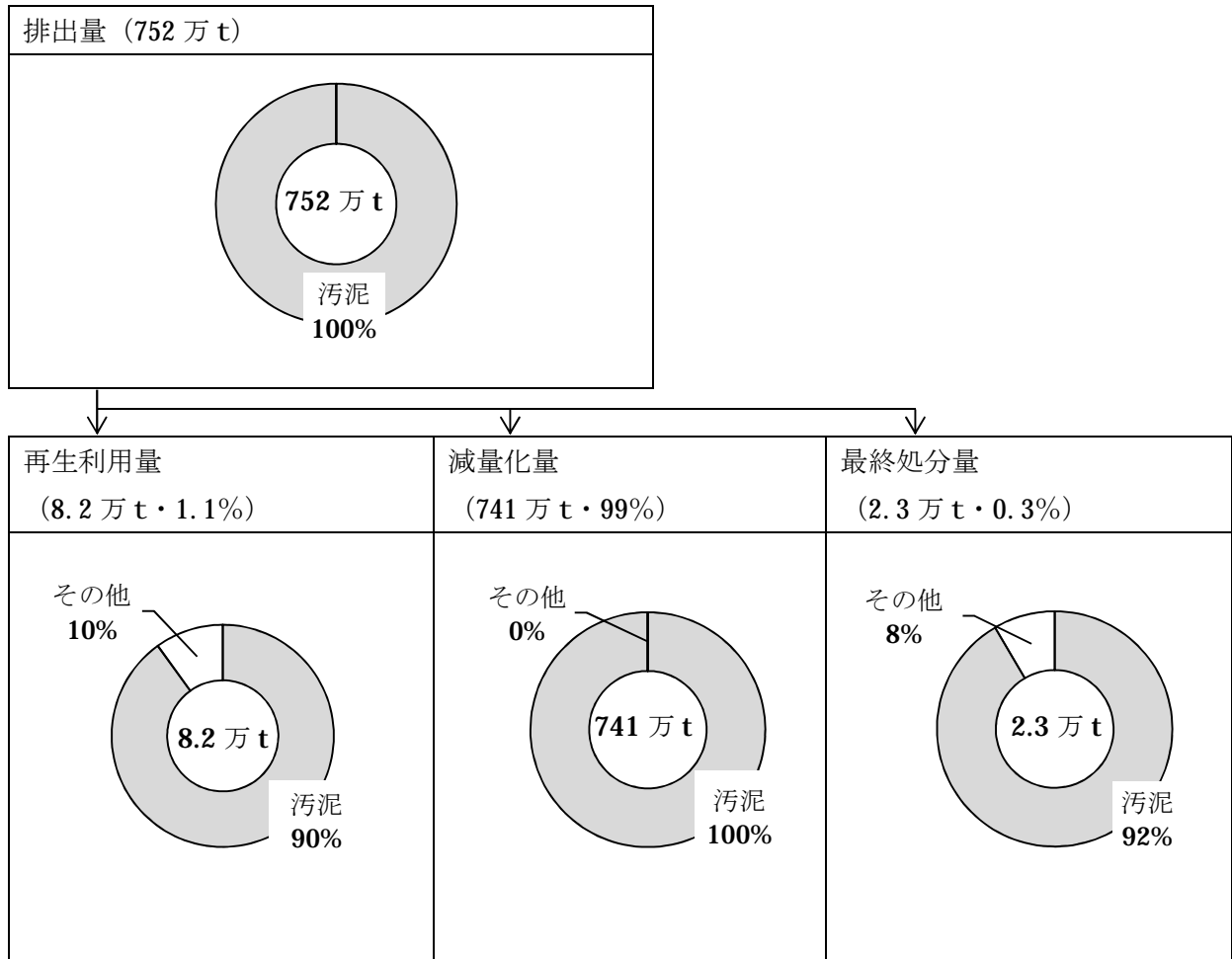


(イ) 排出量、再生利用量、減量化量、最終処分量の推移

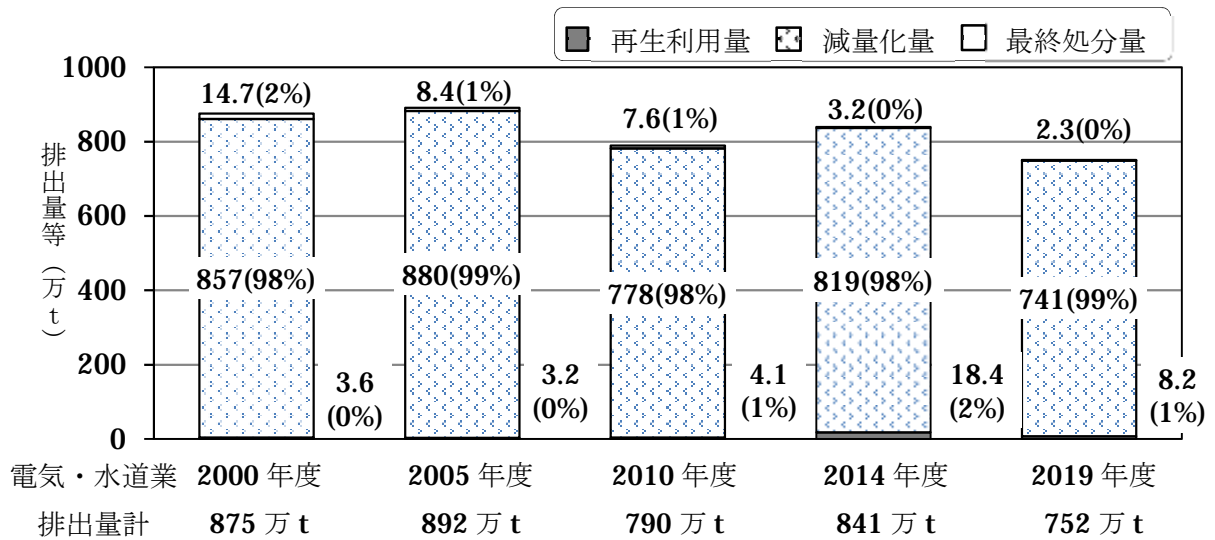


(3) 電気・水道業

(ア) 処理状況 (2019年度)



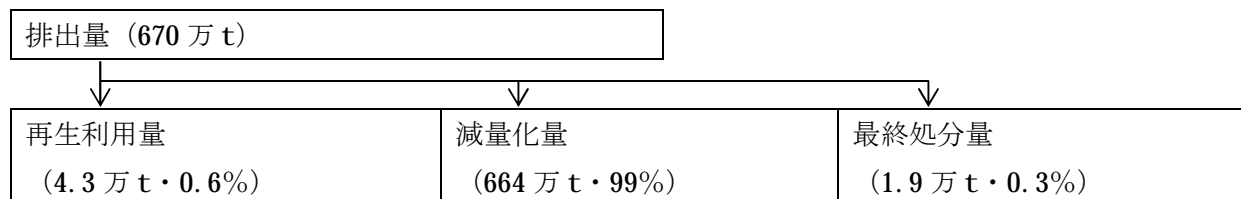
(イ) 排出量、再生利用量、減量化量、最終処分量の推移



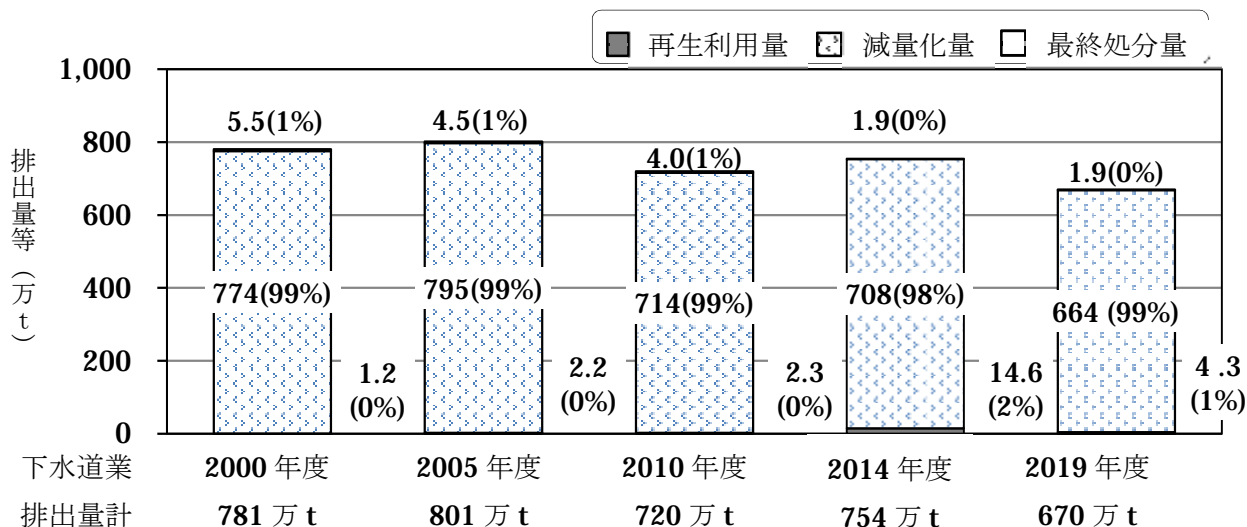
(4) 下水道業

(ア) 処理状況 (2019年度)

・下水道業の排出量は、ほぼ100%が汚泥である。

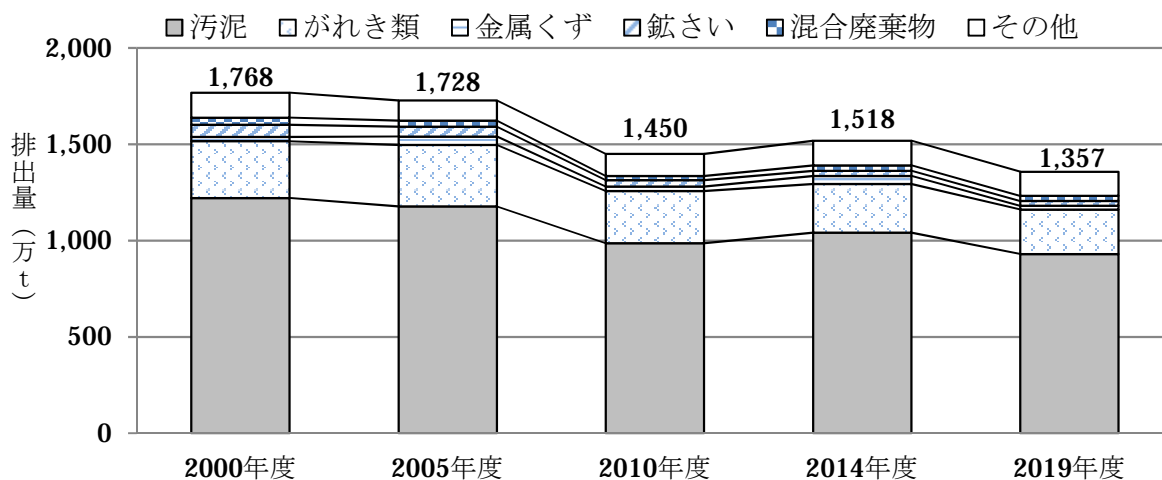


(イ) 下水道の排出量、再生利用量、減量化量、最終処分量の推移

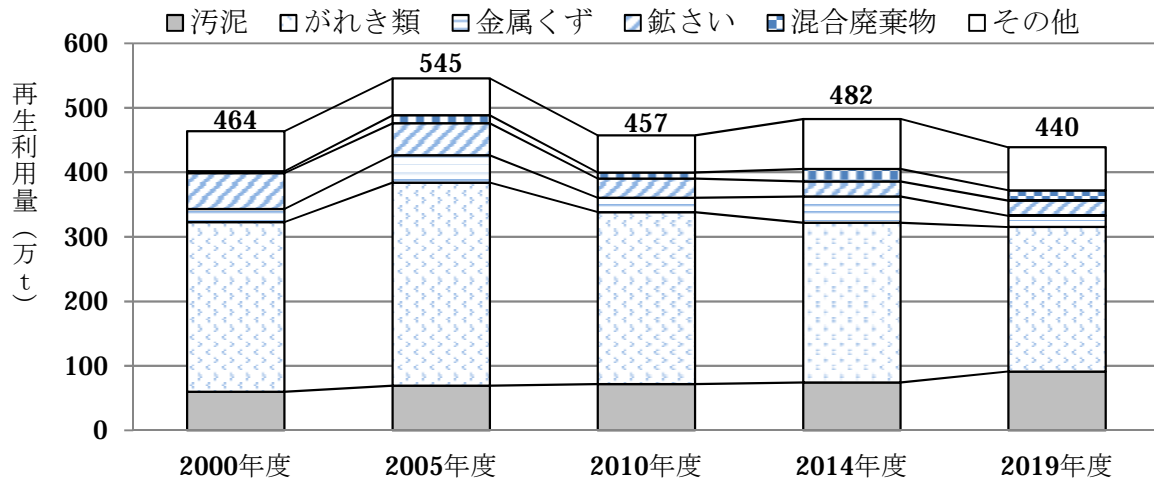


2. 産業廃棄物の種類別の排出量等の推移

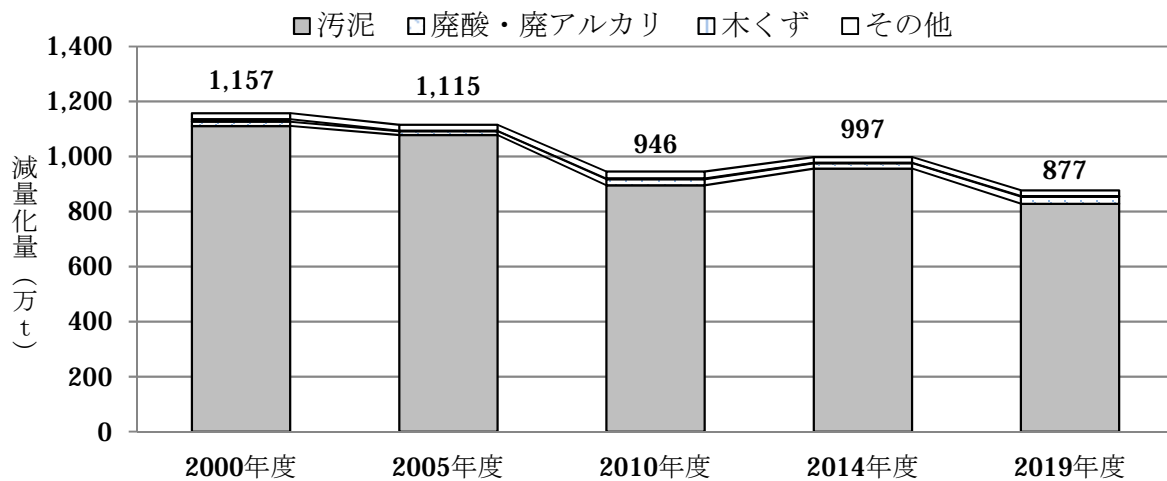
(1) 産業廃棄物の種類別の排出量の推移



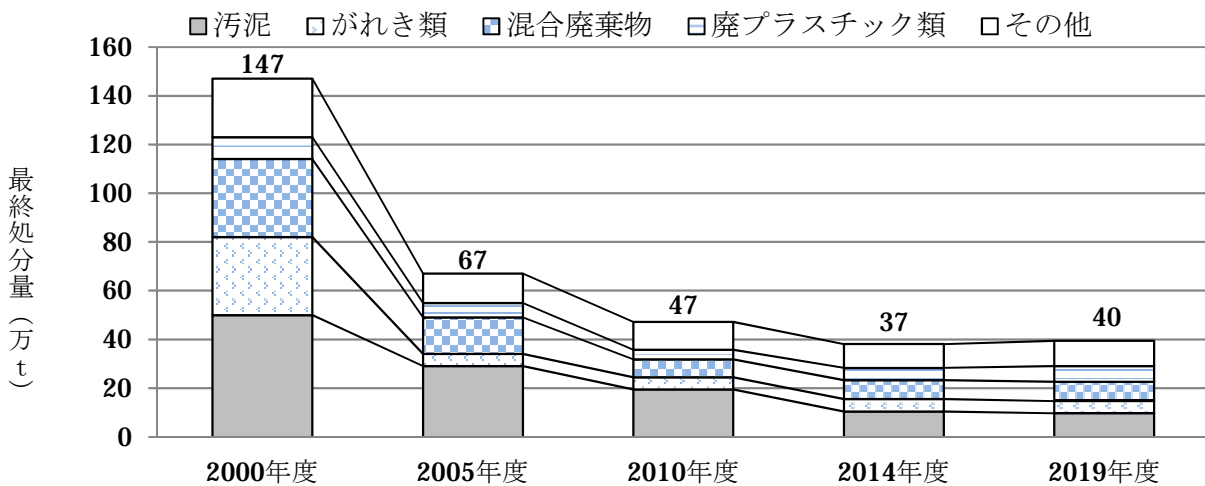
(2) 産業廃棄物の種類別の再生利用量の推移



(3) 産業廃棄物の種類別の減量化量の推移

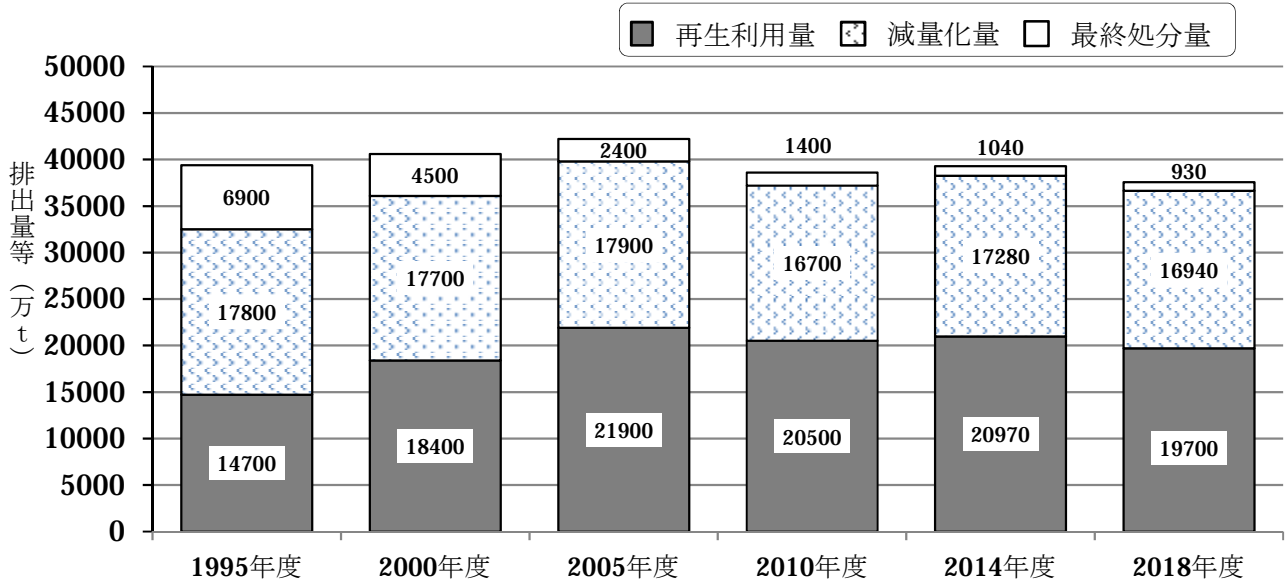


(4) 産業廃棄物の種類別の最終処分量の推移



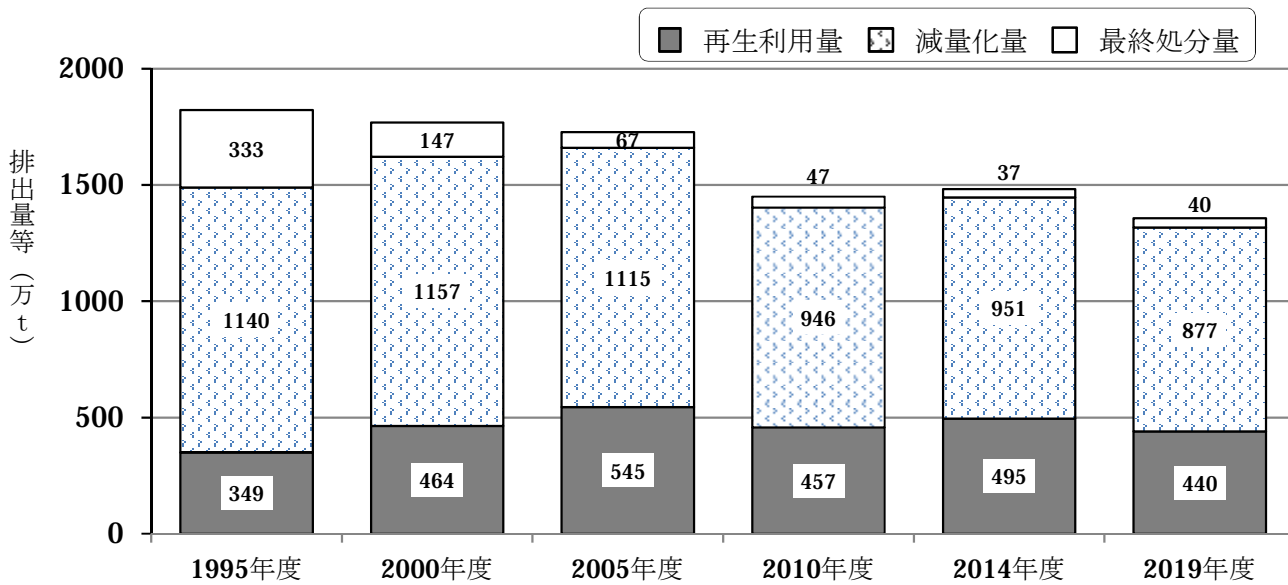
3. 全国及び大阪府の排出量、再生利用量、減量化量、最終処分量の推移

(1) 全国の排出量、再生利用量、減量化量、最終処分量の推移



出典 産業廃棄物排出・処理状況調査報告書（環境省）

(2) 大阪府の排出量、再生利用量、減量化量、最終処分量の推移



出典 大阪府産業廃棄物処理実態調査報告書（大阪府）

※2019年度の大阪府産業廃棄物処理実態調査のデータは、現時点の速報値のため、今後、変わる可能性がある。

4. 大阪府の不適正処理件数の推移

